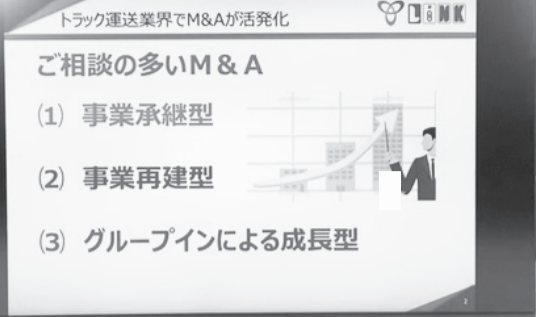


再建やグループイン  
といったニーズも



私どもにご相談いただくM&Aの内容としましては

運送業のM&Aの実情 (トラック運送業専門のM&A・財務改善コンサルタント 為政正嗣氏)

赤沼慎太郎の経営改善・資金... チャンネル登録 8 共有 オフライン

左が投稿者の赤沼慎太郎氏、右が為政正嗣氏

この動画チャンネルでは、経営コンサルタントの赤沼慎太郎氏が、M&Aに詳しい財務改善コンサルタントの為政正嗣氏を迎え、対談形式で運送業のM&Aを取り巻く実状について、次のように解説している。

◆ ◆ ◆  
今の経営者は団塊の世代の方が多いが、その経営者が70歳以上になるといふことで、その数が245万社になると言われている。その245万社の内、半分の方が『後継者が不在です』という回答をしている。

その方がそのまま廃業してしまうと経済にもすごくインパクトが大きいというところ、経済産業省も警鐘を鳴らしている。

一方で、昨今は事業再建型の相談がすごく増えている。自力で再建するのが難しいから、M&Aという形で資本を入れてもらおう、というようなイメージです。

買い手が見るのは、まずこの立地なのか、かっていうことと、ドライバーさんの規模、人数がどれくらいいるのか。後どういった仕事してるのか? という、大きく分けて3つを見ていく。

M&Aっていうのは双方にメリットがある。買い手の資本が入ること、資本強化になり、自分たちは事業に専念することができ、資金を心配しないで本業に特化して頑張りたいということになる。

その資金繰りの部分は、社長はかなりストレスを抱えている。例えば40歳代の社長でトラックの台数15台ぐらいの会社で、まだまだ自分でもやっていけるっていうことはあるが、2024年問題の対策として、M&Aを選択してグループの中に入って成長していきたいと考え、実際にM&Aが成立しました。

40歳代っていうとこれからっていう年齢ですが、早い段階でそうやって大きな資本の傘下に入って、自分はその本業の部分に専念したいんだという事なんです。

そういう意味でM&Aは、社長が高齢化してしまったからっていうよりも、そういった再建とかグループインと増えます。

筆者が還暦からマラソンを始めたきっかけの一つは、両親の介護経験からもあり、

両親の健康上の問題で日常生活に制限があり、支援や介護を通じて「健康を維持する」大切さを痛感しました。特に、要介護5の母親の介護を通じて、「妻や子供たちに同じ思いをさせたくない」と強く感じ、健康寿命を意図するように意識するようになりました。

皆さんは、「ロコモ」と「フレイル」をご存知ですか?  
ロコモティブシンドローム(ロコモ)は、骨や関節、筋肉などの運動器の衰えによる、日常生活に支障をきたす状態です。フレイルとは「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。

両親のリハビリや食事管理が不十分なために筋力が低下し、要支援から要介護さらには寝たきりになる様子を見て、反面教師として多くのことに気付かされました。

そこから得た教訓として健康寿命を延ばすための3つの「S」を日々実践しています。

・食事のS  
五大栄養素をバランスよく摂り、1日に30品目以上を目標とします。特にタンパク質は、朝に40gを目安にしっかり摂取。

・スポーツのS  
ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動を通じて血液循環を促進し、心肺機能を向上させます。

また、これらは骨密度の強化にも効果があります。年間で1200kmを目標にジョギングやウォーキングを行います。

・睡眠のS  
1日7時間以上の睡眠を確保すること、自己免疫力が向上します。

皆さんの健康寿命アップのお役に立てれば幸いです。

仲の良い同僚のA君とB君は仕事を終えて軽く一杯、楽しいひと時を過ごします。

翌朝A君に仕事が集まりますが、ふとB君を見ても手が空いています。

しかしB君に応援を依頼しません。仲良しと信頼は別だからです。「自信」とは、自分なら仕上げてみせる、という思いです。

「信頼」とは、彼な期待以上の成果を上げる(キーエンスで)

昨年よく読まれた書籍の題名です。時価総額がトヨタ・ソニーに次ぐ日本3位、営業利益率55%、平均年収2200万円、業務用電子機器のメーカーです。

「仕組みとそれをやりきる風土がすごい。後輩の指導もしっかりする。人が育たないわけがない」「人が成長し、成果を出したあの仕組みをつくり、その仕組みの中で社員たちが徹底的にやりきる」という組織の強さを垣間見たい」と言われる注目企業です。

上映会は10月5日(土)14時30分、堺市総合福祉会館で開催。定員20名、資料代500円。

問合せは映画「二宮金次郎」普及会 ☎080-3861-3655番まで。

映画「二宮金次郎 上映会のお知らせ」

「二宮金次郎」は、封建社会の枠組みを覆す独特のやり方で600以上の荒廃した村々を復興させました。映画「二宮金次郎」は、貧しさと必死に戦う少年金次郎の姿を交えながら、復興に賭ける激動の生涯を映画化した感動の作品です。

「二宮金次郎」は、封建社会の枠組みを覆す独特のやり方で600以上の荒廃した村々を復興させました。映画「二宮金次郎」は、貧しさと必死に戦う少年金次郎の姿を交えながら、復興に賭ける激動の生涯を映画化した感動の作品です。



運送業のM&Aの実情 (トラック運送業専門のM&A・財務改善コンサルタント 為政正嗣氏)

健康コラム

「還暦からのフルマラソン挑戦!」⑤ 古芝保治

健康寿命を延ばす3つの「S」



恵みの雨の日に練習 大阪城公園にて

コラム

③/⑤ 組織活性化の原則

ユーマスブレイン代表 丸山 孝明



「キエンス解剖」  
あげてくれるという思いです。共通するのは教育・訓練です。

会社には莫大な利益が眠っています。今回も前回に続き組織活性化の基本原則をご紹介します。①危機感の共有 ②価値観の共有  
「仕組みとそれをやりきる風土がすごい。後輩の指導もしっかりする。人が育たないわけがない」「人が成長し、成果を出したあの仕組みをつくり、その仕組みの中で社員たちが徹底的にやりきる」という組織の強さを垣間見たい」と言われる注目企業です。

第三の原則は「自信と信頼の構築」  
仲の良い同僚のA君とB君は仕事を終えて軽く一杯、楽しいひと時を過ごします。翌朝A君に仕事が集まりますが、ふとB君を見ても手が空いています。  
しかしB君に応援を依頼しません。仲良しと信頼は別だからです。「自信」とは、自分なら仕上げてみせる、という思いです。「信頼」とは、彼な期待以上の成果を上げる(キーエンスで)